

第27回全国大会 日本中世英語英文学会

2011年12月3日(土)・4日(日)

大東文化大学(板橋キャンパス)

〒175-8571 東京都板橋区高島平1丁目9番1号 TEL(代表)03-5399-7800 (小池剛史研究室: 内線 3318)

e-mail: bachgenjapaneg@gmail.com

第1日 12月3日(土) 13:45-18:00

会長講演(多目的ホール)

Words and Expressions of Emotion in Medieval English

会長 小倉美知子(慶應義塾大学)

研究発表 I (3号館 3-0111 教室)

1. チョーサーの「メリベウスの話」と都市民の階級意識 工藤義信 (慶應義塾大学大学院)
2. 英雄か極悪人か—*Piers of Bermingham* 成立の社会背景について— 和田葉子 (関西大学)
3. 異写本パラレル・テキストを用いた B 言語からの AB 言語検証: 語彙の視点から
小野祥子 (東京女子大学)
狩野晃一 (横浜市立大学非常勤講師)
4. Pepys 版『キリストの受難の黙想』の言語分析と *A Linguistic Atlas of Late Mediaeval English*
家入葉子 (京都大学)

研究発表 II (3号館 3-0101 教室)

5. 否定接辞の中英語期から現代英語にかけての歴史的考察—un-と-less を中心に—
岡田 晃 (大東文化大学大学院)
6. 中英語頭韻詩における -ly 副詞の位置と韻律の関係 守屋靖代 (国際基督教大学)
7. fast の意味領域の変化—中英語期から初期近代英語期を中心に—
小笠原清香 (立教大学大学院)
8. 14 世紀イングランドを中心に森と狂気と気絶の描写についての考察
小倉美加 (流通経済大学非常勤講師)

第 2 日 12 月 4 日 (日) 10:00-14:30

研究発表 III (3 号館 3-0111 教室)

1. 古英語動詞群の強・弱移行一語彙間の意味重複による影響— 米田 繭子 (京都大学大学院)
2. 古英語における迂言的な法動詞+不定詞構文の意味論的及び統語論的発達について
—古英語訳作品のヴァージョン間比較研究を中心に— 山本伍紀 (杏林大学非常勤講師)
3. The Rushworth Gospels にみられる修正の痕跡についての考察：
Farman による古英語行間訳を中心に
小竹 直 (ロンドン大学 日本学術振興会 海外特別研究員)

研究発表 IV (3 号館 3-0113 教室)

4. The Wisdom of Commerce?: Enacting Consent in the Fifteenth-Century East Anglian Play
Wisdom 井口 篤 (放送大学)
5. Soldiers, Doctors, Aristocrats—ミステリー・プレイにおける家来達—
末松良道 (ケント大学大学院)

研究発表 V (3 号館 3-0101 教室)

6. 『きつね物語』出版史における二つの Pynson 版 (1494, ?1506) の位置づけ
都地沙央里 (福岡女子大学大学院)
7. ゲルマン的異教とはどのような信仰だったのか—古英語版アルフリッチの説教「異教の神々に
ついて」とその古アイスランド語翻訳との比較を通じて— 和田 忍 (神奈川大学)
8. *Piers Plowman* の Middle Earth—北欧神話の *Midgarðr* の影響の有無をめぐる—
浅香佳子 (関西大学非常勤講師)

特別講演 (多目的ホール)

Reading Old English Poems with Anglo-Saxon Eyes

Prof. Daniel Donoghue (Harvard University)

*受付は 12 月 3 日 (土) 11:30-16:00、4 日 (日) 9:30-11:30、3 号館 3-0111 教室前の廊下にて行います。

日本中世英語英文学会 (会長 小倉美知子)

事務局 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

駒澤大学文学部英米文学科 唐澤一友研究室内

Tel: 03-3418-9207

Fax: 03-3418-9246

【大会準備委員】 網代 敦 (委員長) 宅間雅哉 (副委員長)

澤田真由美 村長祥子 伊藤 盡 竹中肇子 小塚良孝